

平成 27 年 12 月 10 日

京都市会改革推進委員会 企画書

民主・都みらい京都市会議員団

1. 投票率向上に向けた取組について

: 中高生対象にした「市会議員と語る会」

- 趣旨: 近いうちに有権者になる中学生や高校生と市会議員が直接話をすることで政治家の実像を見てもらい、政治への理解を深め関心を持ってもらうことで将来の投票率向上につなげる。
- 方法: 社会や公民の授業の際に改革委員選抜メンバーで伺い、班分けされた中学生または高校生と市会議員 1 名が 1 時間程度、政治へのイメージや政治家に対する疑問などをぶつけて意見交換をする。

2. 議会報告会について

- 趣旨: 市民の皆さんに市議会の各会派の考え方や思いを、設定されたテーマ(例: 観光、環境、子育て、福祉など)に基づいて聞いて頂く。
- 方法: 京都市内 4 カ所程度で開催し、市政協力委員の皆さんはもとより市民の皆さんに広くご案内し、お越し頂く。
 - : 各会派構成人数により、発言時間を設定しその時間内で発言する。
 - : 議長が司会をし、全体の運営や発言の整理をする。
 - : 30 分程度を質疑応答に充て、参加された市民の皆さんからの質問に対して全会派が順番に回答する。

3. 意見聴取会について: 出前常任委員会の開催

- 趣旨: 市民の皆さんに常任委員会の管轄範囲内で様々現場の皆さんの話を伺い、今後の京都市政における政策立案に活かす。
- 方法: 常任委員会において管轄範囲の分野に関係する現場の皆さんと意見交換を集まって頂きやすい時間を選んで行う。
 - 例) 経済総務委員会と中小企業の経営者の皆さん
 - くらし環境委員会とスポーツ愛好家の皆さん
 - 教育福祉委員会と子育て最中の皆さん など